

Ⅳ 質問調査の概要

※以下の表中での亀岡市及び全国の欄の数値は「そう思う」「だいたいそう思う」など、肯定的な回答の割合を示しています。

【小学校6年生】

1 学習について

数字は%

項 目	亀岡市	全国
5年まで受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	73.1	80.3
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	82.5	84.9
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた	74.9	79.4
国語の勉強は好きだ	52.6	58.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	91.6	90.4
算数の勉強は好きだ	54.6	57.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	90.9	91.6
理科の勉強は好きだ	75.9	80.1
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	74.3	79.9
国語・算数・理科において「好き」と答えた割合は全国値を下回っている。各教科への興味関心付けによる内発的な学習意欲の向上が課題である。主体的に学ぶ態度を育むために問題解決学習や探究学習に取り組み、課題解決に向けての協働的な学びと、自分の課題に応じた個別最適な学びの一体的な充実を図る。また、メタ認知の力をさらに高めるためにも、学習後の振り返りを大切にする。		

2 家庭生活について

項 目	亀岡市	全国
毎日、朝食を食べている	93.1	93.7
毎日、同じぐらいの時刻に寝ている	78.8	81.9
毎日、同じぐらいの時刻に起きている	89.5	91.0
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している	44.3	54.0
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりの勉強時間が30分未満である	20.9	18.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたり2時間以上勉強している	16.0	21.5

土曜日や日曜日など学校が休みの日の、1日当たりの勉強時間が1時間未満である	63.8	52.7
食生活、就寝・起床時刻は全国値と比べてやや下回る傾向である。家庭での学習時間も含め、学校と家庭が連携した基本的な生活習慣の確立とともに、市内の小・中・義務教育学校で一貫した取組のもとで学習習慣の確立を図りながら、自ら課題を見つけ主体的に学習に取り組める児童の育成を目指す。		

3 友達・地域等との関わり及び自分自身について

項 目	亀岡市	全国
自分には、よいところがあると思う	84.9	86.9
将来の夢や目標を持っている	80.5	83.1
人が困っているときは、進んで助ける	93.2	93.7
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	98.3	97.2
人の役に立つ人間になりたい	96.1	96.4
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	74.4	78.1
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	90.9	91.9
「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」については全国値を下回っており、自己肯定感を高めるなど非認知能力を育む働きかけが必要である。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけない」の項目は全国値を上回っており、正しい規範意識や人権認識、人とのつながりを大切にする思いが醸成されていると考えられる。		

4 ICT 機器の活用について

項 目	亀岡市	全国
学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日まで)、1日当たり1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使う	18.3	19.6
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用する	91.6	71.7
5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	81.6	81.3
5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	85.8	84.6
5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	88.7	87.5
ICT機器の活用頻度については、全国値を上回っており、ICT機器が日常的に学習で活用されていると分かる。今後も活用の推進を図り、協働的、主体的な学び、個別最適な学びの充実を図る。		

【中学校 3 年生】

1 学習について

数字は%

項 目	亀岡市	全国
1・2年生のとき受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	70.6	77.7
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	83.0	84.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた	67.6	73.4
国語の勉強は好きだ	51.5	57.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	86.2	88.3
数学の勉強は好きだ	45.7	53.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	68.6	75.2
理科の勉強は好きだ	59.9	63.8
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	57.8	63.4
国語・数学・理科において「好き」と答えた割合は全国値を下回っており、各教科への興味関心を深める授業展開の工夫による学習意欲の向上を目指す。また、協働的な学びの充実とともに、自ら考え自ら課題解決に取り組めるような授業改善を図り、主体的な学びのさらなる充実を図る。小学校と同様に学習後の振り返りを大切にし、適切なフィードバックをすることで生徒のメタ認知能力の向上を図る。		

2 家庭生活について

項 目	亀岡市	全国
毎日、朝食を食べている	88.6	91.2
毎日、同じぐらいの時刻に寝ている	79.6	81.0
毎日、同じぐらいの時刻に起きている	93.4	92.6
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している	51.7	61.6
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりの勉強時間が30分未満である	27.1	19.0
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたり2時間以上勉強している	20.8	32.5
土曜日や日曜日など学校が休みの日の、1日当たりの勉強時間が1時間未満である	55.1	39.5
食生活、就寝時刻は全国値と比べやや下回る傾向であり、学校と家庭が連携して基本的な生活習慣の確立に努める。また、平日・休日を問わず、家庭での学習時間が全国値を下回っており、特に休日の学習時間の差は顕著である。進路指導や市内の小・中・義務教育学校で一貫した取組のもとで学習習慣の確立を図りながら、主体的な学習習慣の定着を図り、家庭学習の質と量の両面での充実を目指す。		

3 友達・地域等との関わり及び自分自身について

項 目	亀岡市	全国
自分には、よいところがあると思う	82.7	86.2
将来の夢や目標を持っている	62.4	67.5
人が困っているときは、進んで助ける	88.9	90.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.4	95.9
人の役に立つ人間になりたい	95.2	96.6
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	73.1	79.2
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	91.1	91.9
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」については全国値を上回っており、道徳的価値観や他者理解の意識が高まっていることが伺える。一方で「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」については全国値を下回っており、自己肯定感等の非認知能力を育むとともに、より一層のキャリア教育の充実が必要である。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」の項目は全国値を大きく下回っており、対話を通じて自己の考えを深めていく力を身に付けさせるために、協働的な学びの充実を図る。		

4 ICT 機器の活用について

項 目	亀岡市	全国
学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日まで)、1日当たり1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使う	20.3	13.7
1・2年のときの受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用する	95.9	76.5
インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができる	92.3	91.5
PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる	62.4	63.3
PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる	73.3	76.3
ICT機器の活用頻度については、全国値を上回っており、ICT機器が日常的に学習で活用されていると考えられる。一方で情報の整理やプレゼンテーション等による表現については全国値を下回っている。今後はICT機器のより効果的な活用方法について研究を進め、探究的な学び、協働的、主体的な学び、個別最適な学びの充実を図る。		